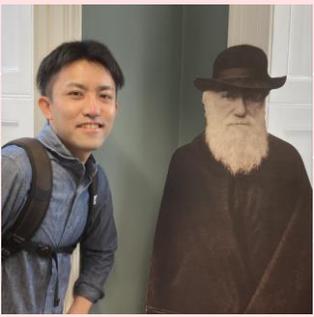
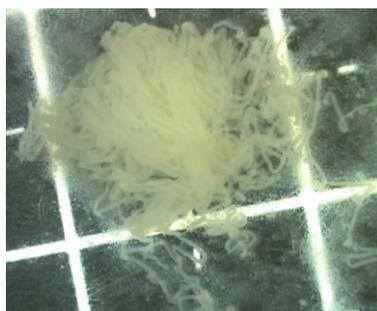


名前	池田 達郎(イケダ タツロウ)	
所属	基礎生物学研究所 生殖細胞研究部門	
職種・学年	特任助教	
実験動物	(現在)マウス(学生時代)ホヤ	
好きな実験	生殖巣のサンプリング→NGS測定→データ解析から見えなかった現象を可視化すること	
趣味	トランペット(ジャズ)、バイク、旅行	
Homepage	<a href="http://www.nibb.ac.jp/germcell/index.html">http://www.nibb.ac.jp/germcell/index.html</a> <a href="https://researchmap.jp/tatsuroikeda">https://researchmap.jp/tatsuroikeda</a>	
ひとこと	「内分泌器官のアトラス」大切に使ってます！	
研究紹介	マウスの生殖巣(主に精巣に注目)が形成される過程において、胎子の生殖細胞1つ1つがどのように寄与しているのかを、細胞を非常に多様なDNAバーコードで標識して系譜追跡することにより解析しています。	
トピック1: 研究者を志したきっかけ	この世の中には様々な生物が生きていますが、その背後では生物種ごととても高い再現性で発生と再生産を行っています。その事実がとても衝撃的で昔から心を掴まれていて、正確な個体発生に寄与する原理を解き明かしたいと考えています。	
トピック2: 目標、チャレンジしたいこと	これまでは器官をすり潰してバーコードを測定してきましたが、現在は器官の3次元構造を保ったままバーコードを測定する実験系の構築をめざしています。それにより、1つ1つの細胞がどのように調節的に振るまって機能的な器官を作り上げるのかを、内分泌系を含む多様な器官(そして可能ならば多様な生物)で理解していきたいです。	

基生研・山手地区@愛知岡崎大学共同利用機関のため設備がとても充実しています。



マウスの1精巣は合計約2mの精細管できています。~7hですべてほぐせます。



Polylox法 (Nat. 2017) を用いて胎子細胞を100万通り以上のDNAバーコードで標識して系譜を追跡しています。

